

乗用車普及率と一人当たり GDP からみた乗用車需要

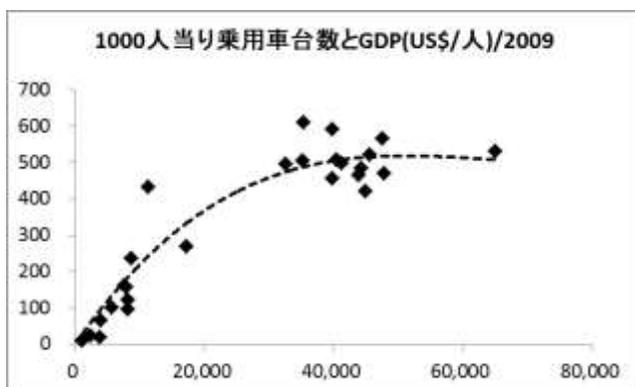
乗用車普及率は人口 1 人当り最大 0.5 台/人、
一人当たり GDP が 40,000US\$になると乗用車普及率はほぼピークに達する

西満幸 (2012/04/10)

(1) 乗用車普及率と GDP

日本自動車工業会の「世界各国の四輪車保有台数 (2009 年末現在)」から世界の四輪車保有台数は 9.65 億台である。この内訳は、6.81 億台が乗用車、2.84 億台がトラック・バスとなっている。世界の平均普及台数は 100 台/1,000 人、すなわち 10 人に 1 台である。日本自動車工業会の資料に示されている 26 カ国の国別資料と国連の統計資料 (名目 GDP、人口統計 (2009 年)) を用いて、1,000 人当りの乗用車台数と 1 人当たりの GDP を図示すると次図の通りである。

図からわかるように、GDP が 40,000US\$/人を超えると乗用車の普及台数は 500 台/1000 人 (2 人に 1 台) 程度と一定値となる。



(2) G7、BRICS、VIP 別の乗用車市場

(1) G7 (473 台/1000 人、GDP 39,545 \$/人、総人口 7.41 億人) :

G7 では既に乗用車の普及率は飽和に達していると予想される。従って、これらの国では買替需要相当が市場規模となる。これは、日本の最大保有台数が人口の半分約 6,000 万台となることを意味する。実耐用年数を 12 年とすると日本国内の年間乗用車需要は買替需要中心の 500 万台、同様に G7 の年間乗用車需要は 3,100 万台程度と推定される。

(2) BRICS5 か国 (33 台/1000 人、GDP 5,480US\$/人、総人口 29.28 億人) :

保有台数が 200 台/1,000 人、GDP10,000 US\$/人までは、ほぼ直線的に保有台数が増加する。現在の GDP は 5,480 \$/人であり、現在の 2.5 倍の保有台数まで国内需要は増加する。インドの GDP は 1,075 US\$/人であり、さらに急激な需要が見込まれる。

(3) VIP3 か国 : (総人口 4.09 億人)

保有台数が一番多いインドネシアが 22 台/1000 人、フィリピンが 10 台/1000 人である。両国の一人当たり GDP はそれぞれ 2,349、フィリピン 1,747 である (ベトナムは 1,058)。これは BRICS 平均の 1/5~1/2、さらに高水準の需要が見込まれる。